

地下空間のわかりやすさとは



ー地下街や地下鉄駅の案内サインと照明環境に着目してー

日 時：平成28年10月19日(水) 17:30~20:30 (受付開始 17:00)

場 所：NSRI ホール

東京都千代田区飯田橋 2-7-5 明治安田生命飯田橋ビル2階 (別添地図参照)

主 催：公益社団法人土木学会 地下空間研究委員会 (担当：心理小委員会)

CPD：土木学会CPD認定プログラム (認定番号：JSCE16-0740、単位数：3.0 単位)

地下街や地下歩道、地下鉄駅コンコースなど都市の地下空間には、避難誘導表示や案内サインだけでなく、さまざまな商業広告などが溢れており、誰もが安心して利用できる分かりやすい空間になっているとはいえません。地下空間では、その特性である閉鎖性や均一なデザインから、ともすると方向感覚を失うことがあります。ネットワーク化が進む地下空間において、避難誘導表示や案内サインの整理とわかりやすい表示が求められています。特に非常時における避難誘導表示や案内サインの役割は重要であり、そのわかりやすさが不可欠です。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、海外の旅行者や、障害を持つ方々が日本を訪れる機会が増えてきます。また、今後迫りくる高齢化社会にも対応した案内方法について検討する必要があります。

本セミナーでは、地下空間における避難誘導表示・案内サインや照明環境について、最近の状況や研究成果について話題提供をいただき、それらをもとに、今後取り組むべき課題やその解決策について、参加者全員で総合的な議論を展開しようとするものです。

1. プログラム

17:30~17:40：開会挨拶 (セミナー開催にあたって)

心理小委員会委員長 石田 敏 郎 (早稲田大学人間科学研究科教授)

17:40~18:30：話題提供「地下空間におけるサイン計画とは」

須田 武 憲 (株式会社ジイケイ設計 代表取締役社長)

18:30~19:20：話題提供「輝度コントラストを用いた公共空間の視環境設計」

中村 芳 樹 (東京工業大学環境社会理工学院 教授)

19:20~20:20：意見交換

モデレーター：心理小委員会 市原 茂 (首都大学東京名誉教授)

20:20~20:30：閉会挨拶

※本セミナーは土木学会継続教育CPD (3.0 単位) ポイントプログラムです。

2. 参加申込

- 定員：80名(参加には事前申込みが必要です。定員に達し次第締め切ります。)
- 申込方法：土木学会ホームページ(<http://www.jsce.or.jp/>)「本部主催行事の参加申込」よりお申込み下さい。
- 申込締切：2016年10月12日(水)必着
- 参加費：無料

3. 会場

NSR I ホール(東京都千代田区飯田橋2-7-5 明治安田生命飯田橋ビル2階)

「飯田橋駅」

- JR 総武線東口 徒歩5分
- 東京メトロ東西線 A5 出口 徒歩3分
- 東京メトロ南北線、有楽町線、都営地下鉄大江戸線 A2,A4 出口 徒歩5分

「九段下駅」

- 東京メトロ東西線 5,7 出口 徒歩5分
- 半蔵門線、都営地下鉄新宿線 5 出口 徒歩5分



4. 次回開催予定

人にやさしい地下歩行空間 セミナー (第2回)

- テーマ：調整中
- 日時：平成29年2月(予定)
- 会場：未定

以上

- ◆◆◆ お問い合わせ先
- 主催：公益社団法人土木学会 地下空間研究委員会
(担当：心理小委員会)
- 連絡先：公益社団法人土木学会 研究事業課 小川 祐司
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目(外濠公園内)
- E-mail：ogawa@jsce.or.jp